

牽引ピンからスリングベルト外れ、 リフト滑走、舗装損傷！

物損事故報告書（確報）

発信部局	品名	部門番号	所属部門名	作種
広	客	上	倉	取

発信日：2016年1月19日
 発信事業所：地域物流部
 発信部門：首都圏オフィス

リフト積み込み時 路面損傷事故

1. 発生日時：2016年1月16日 (土) PM3時50分頃
2. 発生場所：株式会社OO
 (東京都品川区八潮3-1-1)
3. 事故当事者：所属：OO運送株式会社 職種：運転手
 年齢：36歳 勤続年数：4年4ヶ月 経験年数：4年4ヶ月
 免許取得・技能講習受講歴：フォークリフト9年3ヶ月経過、巻上機2ヶ月経過
 社員区分：■正社員 □期間社員 □派遣社員 □その他()
 保有運転技能講習：フォークリフト運転免許、巻上機運転特別講習、ショベルローダー等運転、
 ローラー(締込め)、車両系建設機械(整地等)運転、大型免許、大型特種免許
4. 事故概要：作業名：(株)OO様から年次点検車FG30T-16-711219
 (パールクランプ付)を引取りコマツリフト(株)京浜支店様へ搬入する作業
 (5W1Hで記入) 1月16日(土) PM3:40頃
 PM3:50頃
 PM3:50頃
 作業・安全標準書の有無：有 無
 株式会社OOへ到着。
 引取り車輦の積み込み作業開始。(ウィンチで牽引し積み込み。)
 スリングベルトを牽引ピンに掛けウィンチのフックをつなげて牽引作業開始。
 スリングベルトが牽引ピンから外れ、フォークリフトが滑走。ドライバーは
 ブレーキを踏んだがタイヤがロックしてしまい下まで滑走。パールクランプ
 先端で舗装部分およびPM扉レールを擦り、損傷させた。
 ※ けが人なし、製品損傷無し

5. 状況写真 (写真がない場合ボンチ絵でも可)

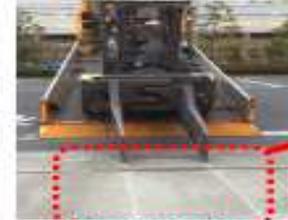
ウィンチ巻き上げ時に
スリングベルトが外れた。



曲がった牽引ピン



爪で門扉レールと舗装面を破壊



破壊部分の拡大図



6. 事故の原因：積み込み作業中にウィンチワイヤー（スリングベルト）が牽引ピンから外れた事により、車輦が滑走した。
 (以下に、その原因を考察し記載します。)

- ① 通常は地面と荷台の段差で振動が発生する事を防ぐため、積み込みフォークリフトの後輪が荷台に乗った状態で牽引ピンにスリングベルトを掛けるが、今回の車輦はサイドブレーキの効きが悪かったため、フォークリフトの車体が斜めの状態で作業をする事に危険を感じた。そこで車体を平地に置いた状態で牽引ピンにスリングベルトを掛け、ウィンチ巻き上げ作業を実施したが、荷台に乗る際に(地面と荷台の段差で)振動が発生し牽引ピンがずれた事によりスリングベルトが外れたと考えられる。(ただし根拠は実施していない。)
 - ② 同様の事故(2015年6月)を踏まえた横二ラミは出来ていたが、振動で牽引ピンが跳ねてウィンチワイヤー(スリングベルト)が外れてしまう事は予想できなかった。
- ※ 作業前の確認項目(牽引ピンの状態：曲がり無し、ピンの入り具合：キチンと下穴に入っている、スリングベルトの掛ける位置：牽引ピン上部、など)に関して問題は無かった。

7. 事故への対応

- 1月16日(土) PM4:50頃 OO運送部OO統括所長よりKLC開口へ電話にて一報受信。豊岡課長、宮原G長に報告。
 PM5:47頃 KLC宮原G長よりOO運送部OO統括所長へ電話にて事故状況を確認する。
 PM6:08頃 KLC豊岡課長よりOO運送部OO統括所長へ電話にて事故状況を確認する。
 その際に、概要報告・写真の送付を依頼。
 1月18日(月) PM7:18頃 OO運送部OO統括所長よりKLC豊岡課長へ事故報告メールを受信。
 AM11:30頃 豊岡が復讐の為、コマツリフト東京支店を訪問。

上長の対応	所属部長	「類似の物損事故が発生させてしまい、申し訳ありません。昨年同様の事故を踏まえた作業開始前の安全確認はできておりもう一歩踏み込んだ対策を実施いたします。 1. シャッフルを使用したピンの抜け防止の検討 [実施での検討、協力企業からの意見伺いなどで実効性を確認します] 2. コマツリフト、板工機発部門への構造的なピン抜け防止策対応の申し入れ
	所属員	類似事故発生させ申し訳ありません。昨年7月に広島で発生しました事故の機にらみで、作業前の確認は行っておりましたが、類似事故が発生させてしまいました。首都圏オフィスとして、ピンの抜け防止についてピンの上部にあて物をして、隙間を無くすなど対策検討・実施いたします。